

## 会議録(7月)

平成28年7月19日  
教育委員会会議室

1. 出席委員 教育長 島寄 善真理 教育長職務代理者 菊池 清隆  
委員 松本 学 委員 興梠 瞳 委員 石井 勇
2. 事務局 教育次長 武内 秀元 指導主事 渡木 秀明
3. 書記 教育次長 武内 秀元
4. 報告
  - (1) 大阪府大東市議会からの五ヶ瀬教育ビジョンに関する視察受入れについて
5. 協議
  - (1) 大分県国東市視察研修結果について
6. その他
  - (1) 第33回五ヶ瀬町体力つくりバレー大会の結果について
  - (2) 九州選抜美術家展について
  - (3) 「奥村羊一・小谷健人二人展～20年・ハタチ～」について
  - (4) 第6回日象会宮崎支部展について
  - (5) 第15回北海道新得町・五ヶ瀬町少年少女使節団交流事業の選考結果について
  - (6) 第13回「ゆうやけトライアル in 五ヶ瀬」について
  - (7) 市町村教育委員と県教育委員との意見交換会について
  - (8) 西臼杵郡教育委員会連合会懇話会日程について

### 連絡事項

- (1) 教育委員会行事予定(7・8月)について

会議録 午後5時30分開会

教育長 あいさつ

議事録署名委員：興梠 瞳 委員

Q…Question (質問), A…Answer (回答)  
O…Opinion (意見)  
E…Explanation (説明)

## 【4. 報告】

### 1 大阪府大東市議会からの五ヶ瀬教育ビジョンに関する視察受入れについて

① 渡木指導主事が説明する。

- ・7月12日に大阪府大東市議会から5名の超党派若手有志が教育ビジョンの視察研修で来町された。
- ・大東市は、学力の向上に向けて様々な取り組みをして行こうとされている。本町と同じように教育ビジョンを掲げ、10年スパンの8年目ということで、次の新しいビジョン作りに向けて議員で勉強されている。
- ・本町の紹介の中で興味を示されたのは、複式学級解消の町雇用の取り組みであった。
- ・予算規模は、本町の10倍位であるが、子供達の教育には苦労されている。
- ・G授業については、大東市は大きな市であるため、みんなが集まつた学習は出来ないが、本町では普段、いつもは一緒に勉強しないようなメンバーと切磋琢磨するような感じの中でお互いにコミュニケーション力を育成している。
- ・教職員も月に2回の会議を中心にお互い切磋琢磨しながら、工夫改善に努めている。このことは良い取り組みであると感心された。大東市でこういった取り組みが出来れば良いがなかなか難しいと言われた。
- ・本町の取り組みを聞いて満足して帰られたようであった。今後、視察を受ける機会があったら、五ヶ瀬の教育について発信していきたいと考えている。

(質疑)

E 1 渡木指導主事にとって、対外的には初めての教育ビジョンの説明で緊張したと思うが、良いスタートを切れたと思う。1年間終わってみると、月1回のペースで全国からの視察を受入れるというような状況である。これからも五ヶ瀬町の教育を全国に発信していきたいと思っている。それだけ注目を浴びているので、自信を持ってやっていけると思っている。

## 【5 協議】

### 1 大分県国東市視察研修結果について

① 教育次長が説明する。

- ・6月30日に大分県国東市に視察に行った際の復命を事前に教育委員に郵送していたので、見てもらっているかと思うが、その時の感想について聞いてみたい。

(質疑)

O 1 2社を見せていただいた一番気になったのは、地域づくりの観点から一つの企業が入ってくるというところで、五ヶ瀬にマッチするのかなという気がした。アキ工作社は地域に根差していたが、松岡社長が特別ではないかと思う。（地域づくりにまで貢献し）これをまとめて行くのは並大抵な事ではな

いし、こういう形で入って貰えればありがたいが、五ヶ瀬バージョンを考えていかないといけないのではと思った。もう一つの国東ファームは昔からの利用形態と変わらないのではないかと思う。雇用だけを考えれば良いと思うが、撤退も早いのではないかと思う。今後、行政、教育委員会として何を地域に求めるのかを出していかないと、地域の人たちも心配するのではないか。

○2 アキ工作社については、国東ファームと違って校舎をそのまま利用しているという面で、地域の方には魅力的なものがあったと思う。（会社で作っている）作品自体も目を見張るものがあって、地域と一緒に歩んでいくという姿勢が表れていた。アキ工作社みたいなところが本町にも入って貰えれば良いと感じた。国東ファームについては、校舎を改修してやっていた。本来は地元の農産物を利用しようということで始まったものだと思うが、なかなか（地元だけの農産物というふうに）思うような形にはなっていないようで、こういうものを提供できるような地域でも頑張りをしてほしい、そういう思いをお互いに伝えていくのも必要ではないかと感じた。環境とか、今まで住み慣れたところが変わっていくというのは、鞍岡地域の人たちにとっても痛い部分もあるのかなと感じた。国東ファームは、他にもっとやりたいことがあるけど（人がいないから）出来ないと言っていたが、私の見た目では精一杯の事をやっているのかなと感じた。鞍中のような施設の場合は、そう多くの人材は雇用出来ないのかなという印象を受けた。跡地利用について公募するのか、地域の方々が拠点として利用したいというのが根強くあると思うので、一番は地域の方々が手を挙げるという形であれば望ましい。地元の方の思いを切らないようにして、良い利用方法が見つかればと思う。

○3 2社を見て、五ヶ瀬町に置き換えてみた時、アキ工作社みたいな感じが良いと思うが、その環境と住んでいる人たちの受け入れに対する考え方もあると思うので、アキ工作社のパターンが良いのか国東ファームのパターンが良いのか考えないといけない。雇用に関しては、五ヶ瀬町は生産人口がないのに、雇用と言っても働く人がいるのかなという疑問を感じた。雇用拡大と言っても働く人がいるのかと感じた。そう考えると、広い年齢層の方が利用できる活用の仕方が良いのではないかと考えた。雇用というよりも高齢者が多いので、広い年齢層のことを考えるべきではないかと感じた。鞍岡地区の人たちがどのように考えているのか、何が必要なのかを考えていくべきではないかと感じた。鞍岡の人と話した感じでは、長年使う訳だから、若い人たちの意見をまず、最初に聞くべきではないかと感じた。そういう人たちが発言できる場所を作つてあげるべきではないかと感じた。30年、40年先の利用を考えると30代、40代の人たちの意見を汲み上げる必要があると思う。教育委員会が主導するのか、町長部局が主導するのかも早めに決めた方が良いのではないか。

E 1 最初は、約1年かけて公民館長、議員、校長をメインに話しをしたが、なかなか纏まらなかつたが、最終的には公民館的な、地域の人が寄つて行けるような集会所みたいな機能が必要ではないかという意見があつた。多目的施設ということで最終的には合意に至つてはいる。もっと若い人に聞いてはどうかという意見も出ているが、その前に役場庁舎内で協議して、ある程度モデルみたいなものを持って地区に入つていけばどうかということで進めてはいる。それと同時進行で鞍岡地区の若手の女性を集めて話しをしようとしている。本当は、地域から考えようというような自主的なグループが出来て、提案型になると良いと思う。

○ 4 (鞍岡中学校を)閉校した時に、跡地利用について(自主的に)集まる集会をするというような話しをされていたので、そういうものが出てくると思っていたが、具体的には教育委員会主導でやっているだけではないか。

一番は、鞍岡地区の方々の意見を尊重しながらやっていくのが良いので、地元から意見が上がつてくれれば有り難いが、意見が出ない中で視察をしても難しいところがあるのではないか。ある程度の段階で、若い人たちの意見を集約してたたき台を出していただきたい。

○ 5 先ほど、行政として、教育として何を求めてはいるのかという話しをしたのは、小学校を移転しないというのを明確に聞いていないので、移転しないのであれば、明確に示さないと協議の仕様がない。例えば、最初から(協議を)やりましょうと言っても、小学校を移転させて、小学校を含めた多目的施設という方法もある。でも、それが無いということであれば、そこを明確にして、それを外して検討してくださいと言わないと分かりにくいと思う。地域の声が一番重要であるが、みんなそこまで考えていないのか、考えているけど集まる場所がないのか、たぶん集まる場所がないのではないかと思う。リーダーがいないのも問題かもしれない。

今後、校舎を管理していく上で、必ず管理費が必要になる。管理費を入れて50年、100年と鞍岡が振興するなら管理費を入れてやつた方が良いと思う。それは教育委員会の中で話す分野かなと思うので、そこは行政として整理しておいた方が良いと思う。早く整理しないとずっとこのまま行くような気がする。

E 2 住民アンケートを取つて、約6割近くが多目的施設という結果も出ている。よその事例を見てみると、トップがこうしますと言えばそう動くのではないか。

○ 6 まだまだ地域には小学校移転という意見がある。行政が小学校移転を考えていないのであれば、早く示さないといけない。

E 3 色んな声を届けて、判断材料をまずは町に与えることではないか。教育委員会はそれを地道にやっているという段階である。

Q 1 ある程度区切りを付けて、いつぐらいまでにということでやって行った方が良いのではないか。

A 1 それはトップに説明している。青写真としては、1年かけて公民館長等と協議した後に、今年度5月から3ヶ月を目途に庁舎内協議を行い、本年12月までには方向性を示して、具体的には担当課でやっていくという流れを考えている。

## 【6 その他】

### 1 第33回五ヶ瀬町体力つくりバレーボール大会の結果について

① 資料に基づき、教育次長が説明する。

- ・決勝トーナメントの準決勝、決勝について説明した。準決勝は、1区大石と5区室野・Gパークチームが対戦し、5区室野・Gパークチームが決勝に進み、もう一つの準決勝は、1区鉄火牧と7区いまでもポコパンチームが対戦し、7区いまでもポコパンチームが決勝に進んだ。決勝戦は、5区室野・Gパークチームと7区いまでもポコパンチームが対戦し、昨年度、準優勝であった5区室野・Gパークチームが優勝した。

(質疑)

なし

### 2 九州選抜美術家展について

① 資料に基づき、教育次長が説明する。

- ・7月14日から24日まで、現在、開催されている九州選抜美術家展は、出展者が昨年より2名増え、9名となった。熊本の加藤由喜子氏と宮崎の島崎清史氏の2名が新たに加わった。
- ・現在、開催されているので、是非観覧いただきたい。

(質疑)

なし

### 3 「奥村羊一・小谷健人二人展～20年・ハタチ～」について

① 資料に基づき、教育次長が説明する。

- ・奥村羊一氏が本町で創作活動を始められて20周年を迎えるため、20周年記念企画展を行う。合わせて、3年前から奥村氏が絵の指導を行っている小谷健人氏が今年20歳になるということで、二人展を8月18日から28日まで開催する。

(質疑)

なし

#### 4 第6回日象会宮崎支部展について

- ① 資料に基づき、教育次長が説明する。
- ・9月8日から18日まで第6回日象会宮崎支部展を開催する。

(質疑)

なし

#### 5 第15回北海道新得町・五ヶ瀬町少年少女使節団交流事業の選考結果について

- ① 資料に基づき、教育次長が説明する。
- ・今回、新得町からの提案でホームステイを復活することとなったため、ホームステイが可能な方の中から抽選し、中学生5名、小学生10名を選考した。
  - ・7月31日の午後5時30分から町民センターで歓迎式を行うので、出席できる教育委員は出席をお願いしたい。
  - ・8月1日の午後6時からふれあいの里で交流会を行うので、参加できる教育委員は参加をお願いしたい。
  - ・8月19日から4泊5日で本町児童生徒が新得町を訪れる。

(質疑)

なし

#### 6 第13回「ゆうやけトライアル in 五ヶ瀬」について

- ① 資料に基づき、教育次長が説明する。
- ・8月20日、土曜日の午後3時から第13回ゆうやけトライアル in 五ヶ瀬を開催する。

(質疑)

なし

#### 7 市町村教育委員と県教育委員との意見交換会について

- ① 教育次長が説明する。
- ・9月から11月の間に開催する。
  - ・昨年度まで2名の出席をお願いしていたが、今年度から人数制限を無くした。
  - ・情報交換会の対象者は、教育長、教育委員（意見交換会に出席しない委員の参加も可）とする。
  - ・これまで延岡市で開催していたが、今後は西臼杵地区での開催も検討する。

(質疑)

なし

## 8 西臼杵郡教育委員会連合会懇話会日程について

① 教育次長が説明する。

- ・懇話会の日程について、高千穂町及び日之影町に尋ねたところ、9月9日か16日のどちらかが都合が良いとのことであった。

(質疑)

○ 9月16日の開催であれば、懇話会の前に定例教育委員会を開催してはどうか。

### 連絡事項

1 委員会の7・8月行事予定

※ 一覧表により次長が説明する。

### 次回の定例教育委員会日程

8月17日（水）午後5時30分 教育委員会において開催する。

閉会時刻 午後6時30分

教 育 長

会議録署名委員

会議録調整者